

宇部市



水蓄熱



宇部市庁舎

市制施行100周年を迎えた
“緑と花と彫刻のまち”

宇部市は、本州西端の山口県の南西部に位置し、南に瀬戸内海を望む温暖な気候に恵まれた都市で、明治の時代からいち早くエネルギーの需要構造の転換に対応し、近代的な工業都市として発展を遂げてきた。

2021年に市制施行100周年を迎えた宇部市は、産官学民が一体となった都市緑化や花いっぱい運動、公園整備といった環境改善と、世界で最も歴史のある野外彫刻コンクール「UBEビエンナーレ」の開催など彫刻によるまちづくりにより、“緑と花と彫刻のまち”として発展し続けている。

次の100年につなげる
環境にやさしい庁舎づくり

宇部市庁舎は、老朽化や耐震性能、ユニバーサルデザイン、防災拠点としての機能不足などさまざまな課題を抱えていたことから建て替えが進められ、22年2月末に新庁舎1期棟建設工

事が竣工した。

新庁舎の建設には、基本構想から設計に至る庁舎建設プロセスの各段階で、市民ワークショップや各種委員会による検討を積み重ねた結果が反映されており、空調システムにはCO₂排出量の削減と環境への負荷を低減するため、太陽熱集熱や水蓄熱ヒートポンプなど高効率で優れた設備を導入している。

同市が取り組む環境にやさしい庁舎づくりは、「BELS評価」で「ZEB-Oriented」、建築物の環境性能を評価し格付けする「CASBEE」で最高の「Sランク」を獲得するなど、高い環境評価の達成で具現化されている。

加えて、自然エネルギーを庁舎に取

り込むと同時に、基準一次エネルギー消費量を50%以上削減するZEB-Ready庁舎を目標にしており、新庁舎1期棟竣工後に設備機器のチューニングを実施し、実測値での達成を目指している。

石炭から工業へ、工業から環境へと変遷した100年目の宇部市は、未来へつなげる新たな庁舎からスタートした。



2期工事完了後の新庁舎イメージ(1期棟は奥、2期棟は手前)



空冷ヒートポンプチラー

宇部市庁舎

所在地: 山口県宇部市常盤町1-7-1
 建築設計: 佐藤総合計画・美建築設計共同企業体
 建築施工: 大成建設・宇部工業・大栄建設共同企業体
 設備設計: 佐藤総合計画・美建築設計共同企業体
 設備施工: 三建設・富士管工・中国産建特定建設工事共同企業体
 竣工: 2022年新設
 URL: <https://www.city.ube.yamaguchi.jp/>

■ 設備概要

空気熱源ヒートポンプチラー
 255kW×1台【東芝キャリア】
 冷温水槽 420m³
 91.8 kW×1台
 【ゼネラルヒートポンプ工業】

